

報道関係各位

2023年6月14日  
株式会社クロス・マーケティング

## 熱中症 意識も対策も本番は7月から 今夏のエアコンの使い方は「電気代は気になるが今まで通り」

－熱中症に関する調査（2023年）－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「熱中症に関する調査（2023年）」を実施しました。年々気温が上昇し熱中症へのリスクも高まっています。今回は熱中症対策を行っている時期や熱中症と感じる瞬間、昨年と比べた今年のエアコンの使い方等を調査しました。

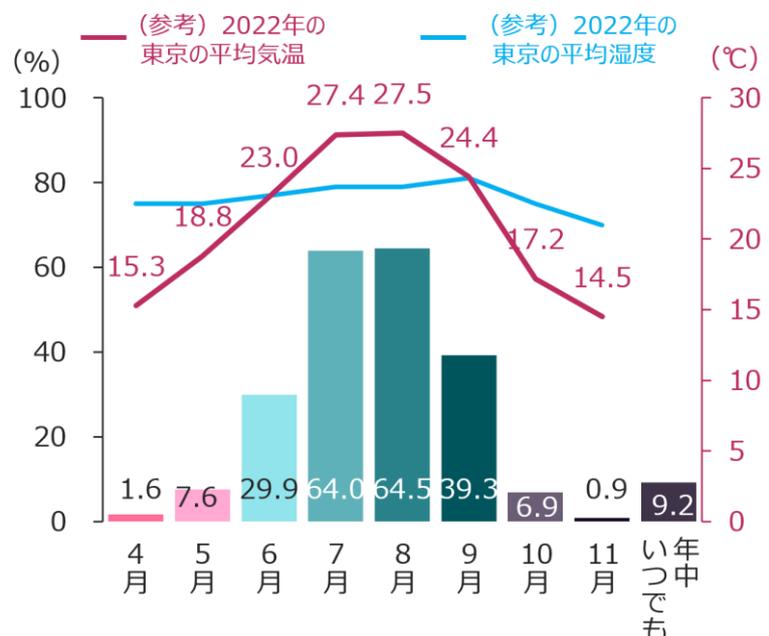
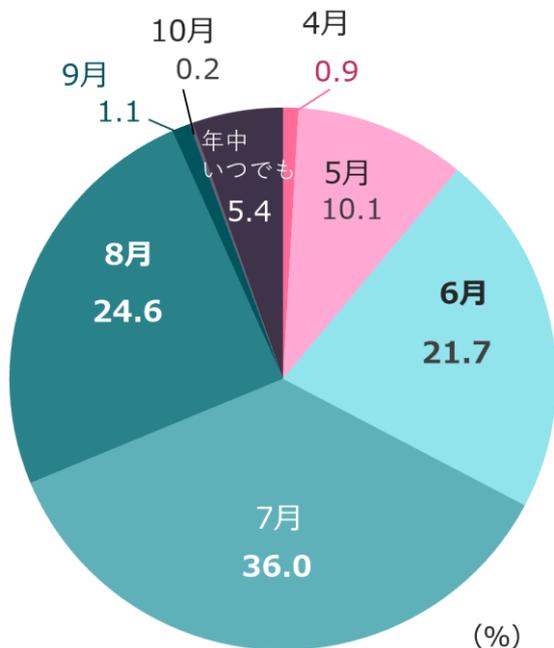
◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20230614heatstroke/>

### ■調査結果

- ✓ 熱中症が気になる時期は「7月」が36.0%次いで「8月」の24.6%。実際に熱中症対策を行う時期は「8月」が最多で64.5%、僅差で「7月」64.0%となり、やや対策の方が遅くなりがち。〈図1・2〉  
2022年の平均気温と平均湿度と対策を行っている期間を見ると、「7月」「8月」は、気温と湿度に対策が比例しているものの、「6月」「9月」は気温や湿度が高い割に対策が3～4割程度にとどまっている。
- ✓ 熱中症を感じる症状は「めまい・立ちくらみ」が4割。〈図3〉  
「気分が悪くなる」「だるさ・疲れ」「頭痛がする」も3割を超えている。
- ✓ 熱中症を感じたときに取る対応は、「水を飲む」が6割以上でTOP。「涼しい場所へ移動する」「スポーツドリンクを飲む」「横になる、安静にする」が続く。〈図4〉
- ✓ 夏のエアコンの使い方では、「電気料金は気になるが今まで通り使う」が40.2%と多い。〈図5〉
- ✓ 熱中症が心配になるのは、「炎天下での体育祭・部活・スポーツ（子供・学校）」「畑仕事をしているひと」など外での行動が多くあった。〈図6〉

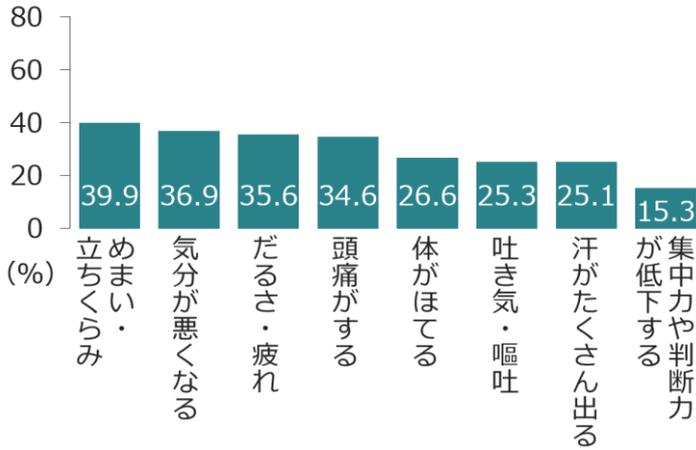
〈図1〉 熱中症が気になり始める時期（単一回答：n=1,100）

〈図2〉 実際に熱中症の対策を行っている時期（複数回答：n=1,100）

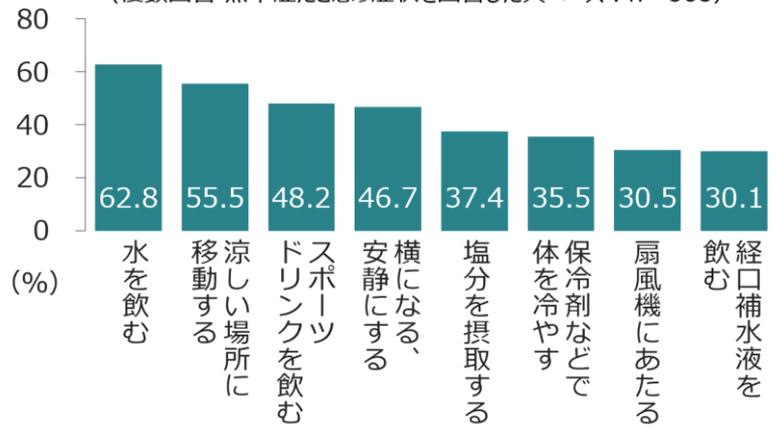


出典：気象庁ホームページ（平均気温／平均湿度）  
（[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly\\_s1.php?prec\\_no=44&block\\_no=47662&year=2022&month=&day=&view=a2](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly_s1.php?prec_no=44&block_no=47662&year=2022&month=&day=&view=a2)）

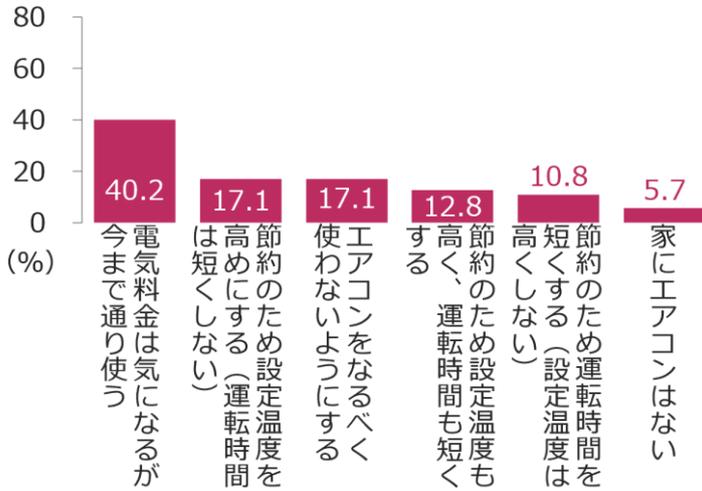
＜図3＞ 熱中症と感じたときの症状TOP8 (複数回答：n=1,100)



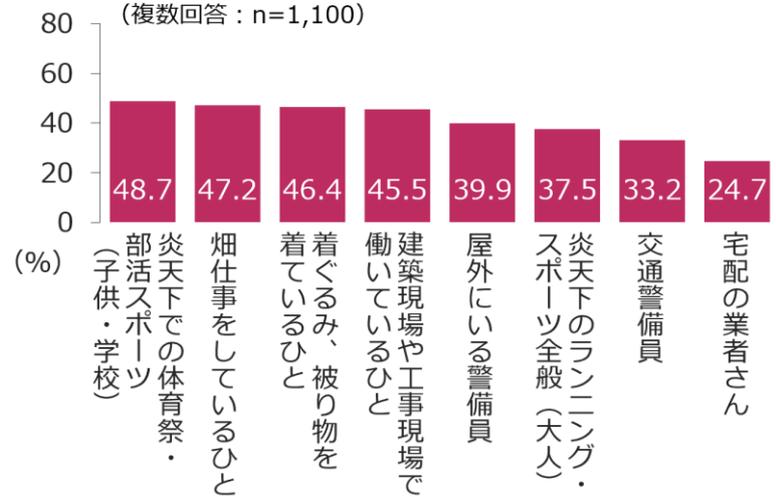
＜図4＞ 熱中症と感じたとき取る対応TOP8 (複数回答 熱中症だと思う症状を回答した人ベース：n=868)



＜図5＞ 昨年と比べた夏のエアコンの使い方 (複数回答：n=1,100)



＜図6＞ 暑い日に熱中症が心配になる自分以外の行動TOP8 (複数回答：n=1,100)



■ 調査項目

- 属性設問
- 熱中症が気になる時期
- 熱中症の対策を行っている時期
- 熱中症と感じたときの症状
- 熱中症と感じたとき取る対応
- 昨年と比べた、夏のエアコンの使い方
- 暑い日に、熱中症が心配になる自分以外の行動

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20230614heatstroke/>

■ 調査概要

調査手法：インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)  
 調査地域：全国47都道府県  
 調査対象：20～69歳の男女  
 調査期間：2023年6月9日(金)～6月11日(日)  
 有効回答数：本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名：株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>  
 所在地：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F  
 設立：2003年4月1日  
 代表者：代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹  
 事業内容：マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当：マーケティング部 TEL：03-6859-1192 FAX：03-6859-2275  
 E-mail：[pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp)

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」